「平成25年度国立劇場等公演記録テープのデータ化変換作業」に関する質問と回答

	質　問	回　答
①	3.（1）①の収録保存された公演記録はいつごろ収録されたものでしょうか。 2013/1/29	作業していただくテープは、平成5年度から平成18年度にかけてD3VTRテープに収録されたものです。 2013/1/29
②	3.（2）②の（ア）～（テ）の機材について、いつごろ導入されたものでしょうか。どれくらいこれまでお使いになられていますでしょうか。 2013/1/29	平成22年3月1日に導入し、平成25年1月末日で2年11か月になります。 2013/1/29
③	3.（2）②の（ア）～（テ）の機材に故障が発生した場合の費用負担は受託者側の負担となりますでしょうか。特に、作業員の操作ミスに起因する故障と想定できる場合についてお聞かせください。 2013/1/29	3.（2）②の（ア）～（テ）の機材については、独立行政法人日本芸術文化振興会がリース会社と賃貸借契約を締結しており、その賃貸借料の中には動産総合保険が含まれています。ただし、ご質問のように故障の原因が作業員の操作ミスによることが明白な場合は、受託者にご負担いただくことになります。 2013/1/29
④	3.（3）⑤作業開始の日とは4月1日という認識でよろしいでしょうか。前年度中に準備期間として取扱説明書の熟読、操作説明を受けるということは可能でしょうか。 2013/1/29	ご質問のとおり、作業は4月1日からとなります。前年度中にご質問いただいたような準備は可能ですが、3.（3）の⑤に記載されているように振興会からは使用する機器の操作指導は行わないので、取扱説明書を熟読いただくか、システム構築業者から操作説明を受けていただくことになります。 2013/1/29
⑤	機器操作等の習得に必要な費用は、請負者が負担とありますが、これはシステム構築業者からの操作説明が有料であるということを意味しているのでしょうか。それとも純粋に請負者側の人件費負担のことでしょうか。 2013/1/29	システム構築業者から操作説明を受ける場合、講師派遣等の費用が発生する際には、その費用を請負者にご負担いただくことになります。 2013/1/29